



TOOLS for n Version2

アップデートガイド

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、＜ソフトウェア使用許諾契約＞を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をされた場合には下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みください。ご同意いただけない場合は、ダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をおやめください。すでにダウンロードやインストールをしたが、下記条項にご同意いただけないという場合には、速やかに本ソフトウェアを削除してください。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- ・ お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用することができます。
- ・ バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- ・ お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- ・ 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用MIDIデータ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

5. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- ・ 弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- ・ 弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- ・ 弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

ご注意

- ・ このソフトウェアおよびアップデートガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ 巻頭にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。
- ・ このソフトウェアおよびアップデートガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このソフトウェアおよびアップデートガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、下記URLをご参照ください。
<http://www.yamahasynt.com/jp/>
- ・ このアップデートガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 弊社および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ SteinbergおよびCubaseは、Steinberg Media Technologies GmbH 社（以下「Steinberg」）の登録商標です。
- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ MacおよびMacintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

TOOLS for n Version2 とは

TOOLS for n Version2 は、「Yamaha Steinberg FW Driver」と「n Extension」の2つのソフトウェアで構成されています。Yamaha Steinberg FW Driver は、n8/n12をコンピューターに接続して使用するためのドライバーです。n Extensionは、n8/n12 をCubase 5/Cubase AI 5 などの連携機能に対応したCubaseと組み合わせて使うためのソフトウェアです。TOOLS for n Version2 インストーラーにより、これら2つのソフトウェアがインストールされます。

TOOLS for n からの主な変更点

- ・ ドライバーをAI DriverからYamaha Steinberg FW Driverに変更しました。
- ・ Extensionのインストーラーの形式を変更しました。以前のインストーラー(Yamaha Extensions for Steinberg DAW)は、n以外の複数のモデルのExtensionもまとめてインストールしていましたが、TOOLS for n Version2ではnのExtensionだけをインストールします。(Windowsでは、TOOLS for n Version2をインストールする前に、以前の形式のインストーラーでインストールしたExtensionをアンインストールする必要があります。)
- ・ Cubase 5に対応しました。
- ・ Windows Vista 64ビット版、Windows7、Mac OS X 10.6に対応しました。

Yamaha Steinberg FW Driverの特長

- ・ ドライバー(Windows版)やConnection Manager (Macintosh版)のオン/オフ設定が不要になるなど、より簡単に使用できます。
- ・ サンプリング周波数を、CubaseなどのDAWソフトウェアから変更できます。
- ・ 最大3台まで(サンプリング周波数が88.2kHz/96kHzの場合は2台まで。また、MOTIF XSシリーズおよびMOTIF-RACK XSはサンプリング周波数にかかわらず2台まで)のYamaha Steinberg FW Driver対応機器を接続して同時に使用できます。

TOOLS for n Version2をお使いいただくためには、以下のソフトウェアが必要です。

n8/n12ファームウェア	V1.03以上
IEEE1394ファームウェア	V1.07以上
Sweet Spot Data Manager	V2.0.0以上
Cubase 4シリーズをお使いの場合	V4.5.2以上
Nuendo 4をお使いの場合	V4.2.2以上

本書では、これらのバージョンへのアップデート手順に関する情報についても説明します。

重要

ファームウェアをアップデートすると、n Driver、AI DriverまたはmLAN Driver/mLAN Toolsでは使用できなくなります。
また、以前のバージョンのファームウェアに戻すことはできません。

はじめてTOOLS for n Version2を使用する場合は、TOOLS for n Version2のインストールをはじめる前に、以下のソフトウェアや取扱説明書も弊社およびSteinberg社のホームページからダウンロードしておいてください。

n8/n12 Firmware Updater	V1.03以上
IEEE1394 Firmware Updater	V1.07以上
Sweet Spot Data Manager	V2.0.0以上
TOOLS for n Version2/Cubase AIインストールガイド	
n8/n12取扱説明書(TOOLS for n Version2対応版)	
http://www.yamahasynth.com/jp/	

NOTE

- ・ 同梱されているCD-ROMがTOOLS for n Version2の場合は、n8/n12 Firmware UpdaterとIEEE1394 Firmware Updaterは必要ありません。(本体のファームウェアはアップデート済みです。)

Cubase 4シリーズをお使いの場合	V4.5.2以上へのアップデート
Nuendo 4をお使いの場合	V4.2.2以上へのアップデート
http://japan.steinberg.net/	

ソフトウェアの動作環境

TOOLS for n Version2をお使いいただくには、以下のコンピューター環境が必要です。

NOTE

- ・ お使いのOSによっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。
- ・ 各社DAWソフトウェアの動作環境については、それぞれの取扱説明書をご参照ください。
- ・ TOOLS for n Version2の最新バージョン、および動作環境については、下記URLに最新情報が掲載されています。
<http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/>

■ Windows

OS	: Windows XP Professional SP3/XP Home Edition SP3/Vista SP1 以降 /7
コンピューター	: Intel Core/Pentium/Celeron ファミリーのプロセッサを搭載したコンピューター S400(転送スピード 400Mbps) の IEEE1394 端子または i.LINK 端子を搭載したもの(*1)
ハードディスク	: 100MB 以上の空き容量 (32 ビット版) 150MB 以上の空き容量 (64 ビット版) 高速なハードディスク

Windows XP Professional SP3/XP Home Edition SP3

・推奨動作環境(*2)

CPU	: Core 2 Duo 1.66GHz 以上
メモリー	: 512MB 以上

・最低動作環境(*2)

CPU	: Pentium 1.4GHz または Celeron 1.7GHz 以上
メモリー	: 512MB 以上

Windows Vista SP1 以降 (32ビット版)

・推奨動作環境(*2)

CPU	: Core 2 Duo 2.13GHz 以上
メモリー	: 1GB 以上

・最低動作環境(*2)

CPU	: Pentium 1.4GHz または Celeron 1.7GHz 以上
メモリー	: 512MB 以上

Windows Vista SP1 以降 (64ビット版)

・推奨動作環境(*2)

CPU	: Core 2 Duo 2.66GHz 以上
メモリー	: 1GB 以上

・最低動作環境(*2)

CPU	: Core 2 Duo 1.66GHz 以上
メモリー	: 1GB 以上

Windows 7 (32ビット版)

・推奨動作環境(*2)

CPU	: Core2 Duo 2.13GHz 以上
メモリー	: 1GB 以上

・最低動作環境(*2)

CPU	: Pentium 2GHz 以上
メモリー	: 1GB 以上

Windows 7 (64ビット版)

・推奨動作環境(*2)

CPU	: Core2 Duo 2.66GHz 以上
メモリー	: 2GB 以上

・最低動作環境(*2)

CPU	: Core2 Duo 1.66GHz 以上
メモリー	: 2GB 以上

*1 IEEE1394 端子または i.LINK 端子を搭載したコンピューターが必要です。搭載していない場合は、PC または PCI カードなどを別途ご用意ください。

*2 前記推奨 / 最低動作環境は、1 台の n8 または n12 をコンピューターに接続して、Cubase 4(Windows Vista 64ビット版/Windows 7はCubase 5) で次のオーディオ / MIDI を再生しながら、同梱のソフトエフェクトなどを使用した場合です。お使いの DAW によって異なる場合があります。

<推奨動作環境>

Fs=44.1kHz / 24bit
Audio x 16トラック再生
Audio x 1トラック録音
MIDI x 18トラック再生
MIDI Remote Control / Automation
Send Plug-in Soft Effect 3 系統
Insert Plug-in Soft Effect 9 系統
Plug-in Soft Synthesizer 2 系統
Latency 6msec 程度

<最低動作環境>

Fs=44.1kHz / 24bit
Audio x 15トラック再生
MIDI Remote Control / Automation
Send Plug-in Soft Effect 3 系統
Insert Plug-in Soft Effect 9 系統
Plug-in Soft Synthesizer なし
Latency 50msec 程度

NOTE

- ・ ノートPCをご使用の場合、ノートPCの制約により、内蔵 IEEE1394が使用できないことがあります。このようなときは、PCカードを別途ご用意ください。

■ Macintosh

- OS : Mac OS X 10.4.x (Intel 製プロセッサを搭載した機種は、10.4.9 以降)、10.5.x、10.6.x
- コンピューター : FireWire ポートを搭載したもの
- ハードディスク : 100MB 以上の空き容量、高速なハードディスク

Mac OS X 10.4 / 10.5

・推奨動作環境 (*1)

- CPU : PowerPC G5 2.0GHz Dual または Core Solo 1.5GHz 以上
- メモリー : 1GB 以上

・最低動作環境 (*1)

- CPU : PowerPC G4 1GHz 以上
- メモリー : 512MB 以上

Mac OS X 10.6

・推奨動作環境 (*1)

- CPU : Core Duo 1.83GHz 以上
- メモリー : 1GB 以上

・最低動作環境 (*1)

- CPU : Core Solo 1.5GHz 以上
- メモリー : 1GB 以上

- *1 前記推奨／最低動作環境は、1 台の n8 または n12 をコンピューターに接続して、Cubase 4 (Mac OS X 10.6 では Cubase 5) で次のオーディオ／MIDI を再生しながら、同梱のソフトエフェクトなどを使用した場合です。お使いの DAW によって異なる場合があります。

<推奨動作環境>

Fs=44.1kHz / 24bit
Audio x 16 トラック再生
Audio x 1 トラック録音
MIDI x 18 トラック再生
MIDI Remote Control / Automation
Send Plug-in Soft Effect 3 系統
Insert Plug-in Soft Effect 9 系統
Plug-in Soft Synthesizer 2 系統
Latency 5msec 程度

<最低動作環境>

Fs=44.1kHz / 24bit
Audio x 15 トラック再生
MIDI Remote Control / Automation
Send Plug-in Soft Effect 3 系統
Insert Plug-in Soft Effect 9 系統
Plug-in Soft Synthesizer なし
Latency 50msec 程度

ソフトウェアのインストール

すでにTOOLS for n Version2をお使いの場合

本TOOLS for n Version2のインストール手順は、「TOOLS for n Version2/Cubase AIインストールガイド」に記載のCD-ROMからインストールする場合と同じです。インストールガイドを参照して、インストールを行なってください。その際、CD-ROMの「setup.exe」(Windowsの場合)または「TOOLS for n V2.mpkg」(Macintoshの場合)のかわりに、ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「setup.exe」(Windowsの場合)または「TOOLS for n V2.mpkg」(Macintoshの場合)をダブルクリックしてインストーラーを起動してください。

NOTE

- ・ お使いのコンピューターに古いバージョンのTOOLS for n Version2がインストールされている場合も、同じ手順でインストールを行なうことによりアップデートされます。
- ・ 「TOOLS for n Version2/Cubase AIインストールガイド」をお持ちでない場合は、弊社ホームページからダウンロードしてください。

はじめてTOOLS for n Version2をお使いになる場合

下記手順に従ってください。

Windowsの場合

- [1] n Driver, AI DriverまたはmLAN Driver/mLAN ToolsおよびExtensions for Steinberg DAWをアンインストールする(32ビット版のみ)
- [2] TOOLS for n Version2をインストールする
- [3] n8/n12をコンピューターに接続して電源を入れる
- [4] IEEE1394ファームウェアをアップデートする
- [5] n8/n12ファームウェアをアップデートする
- [6] n series FWドライバーとWDM Audio/MIDIドライバーの初期設定をする(Windows XPのみ)
- [7] インストール後の確認をする
- [8] Sweet Spot Data Managerをアップデートする

[1] n Driver、AI DriverまたはmLAN Driver/mLAN ToolsおよびExtensions for Steinberg DAWをアンインストールする(32ビット版のみ)

これらのソフトウェアがコンピューターにインストールされている場合は、以下の手順でアンインストールしてください。ただしmLAN Driver/mLAN Tools については、n8/n12以外の機器で必要ならばアンインストールしなくても構いません。

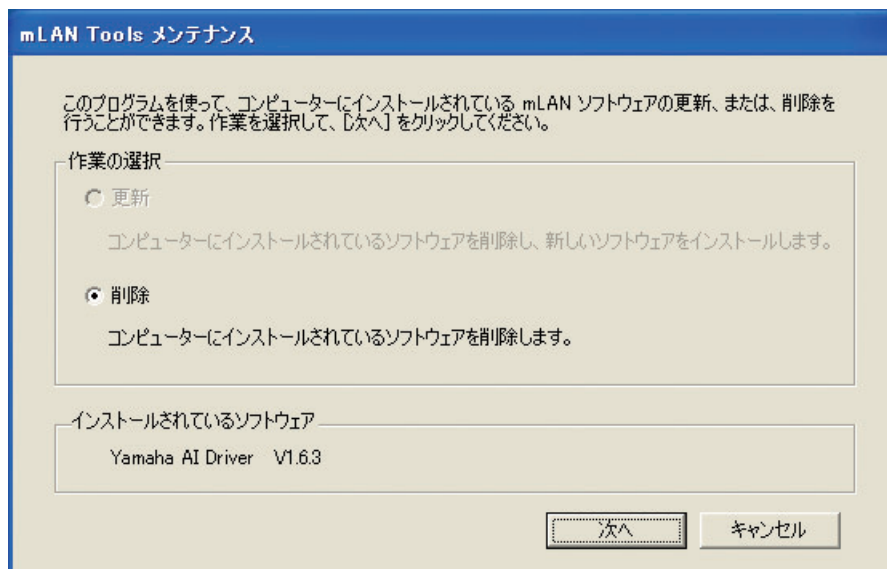
NOTE

mLAN Driver/mLAN Toolsをアンインストールしないで残しておく場合の注意

- ・ mLAN Driver/mLAN Tools V1.6.2をお使いの場合は、V1.6.3以降にアップデートしてください。Yamaha Steinberg FW Driverは、mLAN Driver/mLAN Tools V1.6.2と互換性がないため、動作しません。
- ・ Yamaha Steinberg FW Driverを使用するときは、mLANドライバーを無効（オフ）にしてください。有効（オン）のままにしておくと、mLANドライバーがIEEE1394 インターフェースを使用するため、Yamaha Steinberg FW Driverを使用できません。また、逆に、mLANドライバーを使用するときは、mLAN ドライバーを有効（オン）にする前に、Yamaha Steinberg FW Driver対応機器の電源を切るか、コンピューターから取り外してください。コンピューターに複数のIEEE1394インターフェースを装着して、mLANドライバーで使用するIEEE1394インターフェースと異なるインターフェースにYamaha Steinberg FW Driver対応機器を接続する場合は、これらの操作は必要ありません。

n Driver、AI DriverまたはmLAN Driver/mLAN Toolsのアンインストール

- 1 ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先から、「Uninstall_mLAN」フォルダーを開き、「setup.exe」をダブルクリックします。メンテナンス画面が表示されます。

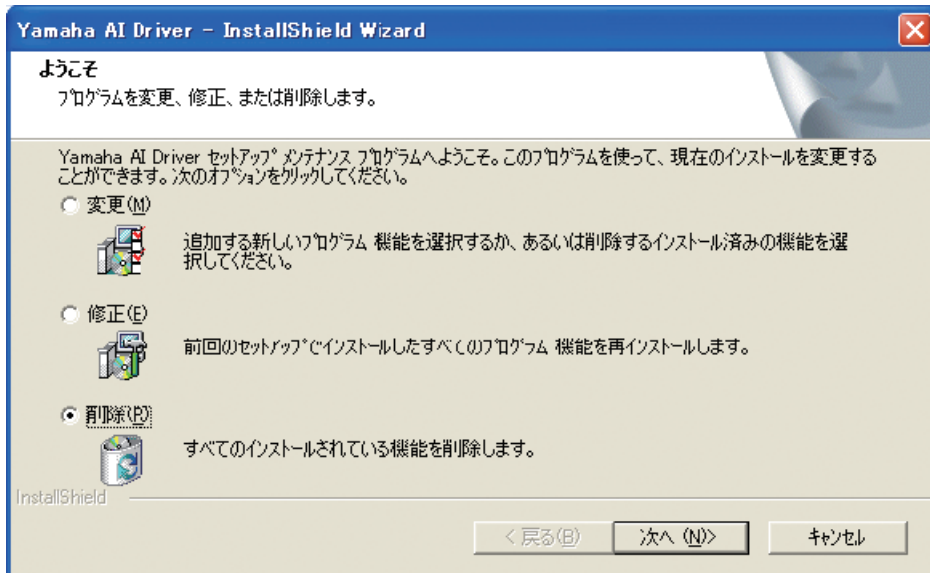


NOTE

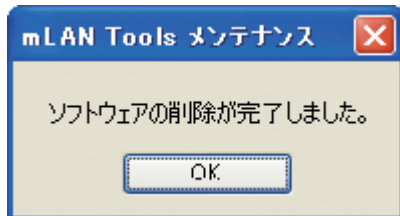
- ・ Windows Vistaをお使いの場合は、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。そのあと、メンテナンス画面が表示されます。
- ・ n Driver、AI DriverまたはmLAN Driver/mLAN Toolsがインストールされていない場合は、「インストーラーが見つかりません。」という画面が表示されます。

- 2 「削除」の左側にあるラジオボタンにチェックが入っていることを確認して、[次へ]をクリックします。
- 3 「(インストールされているソフトウェアの名称) を削除します」という画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

- 4 「ようこそ」という画面が表示されたら、「削除」の左側にあるラジオボタンにチェック入れて、「次へ」をクリックします。



- 5 ファイル削除の確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。
メンテナンスが開始されます。
- 6 メンテナンス完了画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
- 7 「mLAN Tools 2.0を削除します」という画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。
- 8 ファイル削除の確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。
メンテナンスが開始されます。
- 9 メンテナンス完了画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
- 10 「ソフトウェアの削除が完了しました」という画面が表示されたら、[OK]をクリックします。
これで、n Driver、AI DriverまたはmLAN Driver/mLAN Toolsのアンインストールは完了です。



NOTE

- Windowsのコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」/「プログラムと機能」を使ってアンインストールすることもあります。Extensions for Steinberg DAWのアンインストール（次の項目を参照）と同じ要領で、以下の2つのプログラムを1→2の順にアンインストールします（必ず、1→2の順にアンインストールしてください）。
 - 1) Yamaha n Driver、Yamaha AI DriverまたはmLAN Applications for Yamaha
 - 2) mLAN Tools 2.0

■ Windows XPの場合

- 1 [スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]を選択し、「プログラムの追加と削除」を表示します。
- 2 左上の「プログラムの変更と削除」をクリックして選び、右側のリストの中から「Yamaha Extensions for Steinberg DAW」を選択します。
- 3 アンインストールを実行するには[削除]をクリックします。
ダイアログが表示されますので、画面の指示に従ってアンインストールを実行してください。

■ Windows Vistaの場合

- 1 [スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]→[プログラムと機能]を選択し、「プログラムのアンインストールまたは変更」を表示します。
- 2 リストの中から「Yamaha Extensions for Steinberg DAW」を選択します。
- 3 [アンインストール]をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックします。
ダイアログが表示されますので、画面の指示に従ってアンインストールを実行してください。

[2] TOOLS for n Version2をインストールする

「TOOLS for n Version2/Cubase AIインストールガイド」を参照して、インストールを行なってください。インストール手順は、インストールガイドに記載のCD-ROMからインストールする場合と同じです。CD-ROMの「setup.exe」のかわりに、ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「setup.exe」をダブルクリックしてインストーラーを起動してください。

NOTE

- ・ Windows XPをお使いの場合、TOOLS for n Version2/Cubase AIインストールガイド」の手順15 (7ページ)まで進んだあと、本アップデートガイドの「[3] n8/n12をコンピューターに接続して電源を入れる」からの手順にしたがって、ひきつづきアップデートを行なってください。
- ・ Cubase 4シリーズ、または、Nuendo 4をお使いの場合は、以下のバージョンにアップデートしてください。アップデートの手順については、アップデートのダウンロードページにあるアップデートガイドをご参照ください。

－Cubase 4/Cubase Studio 4/Cubase Essential 4/Cubase AI 4	V4.5.2以上
－Nuendo 4	V4.2.2以上

[3] n8/n12をコンピューターに接続して電源を入れる

NOTE

- ・ Windows XP のコンピューターにはじめてn8/n12を接続する場合は、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ] をクリックします。インストール完了のメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。
- ・ Windows Update に接続するかどうかを選択する画面が表示されることがあります。この場合は「いいえ、今回は接続しません」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ] をクリックします。

[4] IEEE1394ファームウェアをアップデートする

アップデートの手順については、IEEE1394 Firmware Updaterに同梱されている「IEEE1394ファームウェアアップデートガイド」をご参照ください。

[5] n8/n12ファームウェアをアップデートする

アップデートの手順については、n8/n12 Firmware Updaterに同梱されている「n8/n12ファームウェアアップデートガイド」をご参照ください。

[6] n series FWドライバーとWDM Audio/MIDIドライバーの初期設定をする(Windows XPのみ)

n8/n12ファームウェアのアップデートが完了後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。「TOOLS for n Version2/Cubase AIインストールガイド」の手順16以降(7ページ)を参照して、各ウィザードを完了させてください。

NOTE

- ・ウィザードが表示されたら、「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、「次へ」をクリックします。インストール完了のメッセージが表示されたら、「完了」をクリックします。
- ・Windows Update に接続するかどうかを選択する画面が表示されることがあります。この場合は「いいえ、今回は接続しません」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、「次へ」をクリックします。
- ・Windows Vistaをお使いの場合は、自動的に初期設定が行なわれるので、ここでの操作は不要です。

[7] インストール後の確認をする

「TOOLS for n Version2/Cubase AIインストールガイド」を参照して、インストール後の確認を行なってください。

[8] Sweet Spot Data Managerをアップデートする

アップデートの手順については、Sweet Spot Data Managerに同梱されている「Sweet Spot Data Managerインストールガイド」をご参照ください。

Macintoshの場合

- [1] TOOLS for n Version2をインストールする
- [2] n8/n12をコンピューターに接続して電源を入れる
- [3] IEEE1394ファームウェアをアップデートする
- [4] n8/n12ファームウェアをアップデートする
- [5] インストール後の確認をする
- [6] Sweet Spot Data Managerをアップデートする

[1] TOOLS for n Version2をインストールする

「TOOLS for n Version2/Cubase AIインストールガイド」を参照して、インストールを行なってください。インストール手順は、インストールガイドに記載のCD-ROMからインストールする場合と同じです。CD-ROMの「TOOLS for n V2.mpkg」のかわりに、ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「TOOLS for n V2.mpkg」をダブルクリックしてインストーラーを起動してください。

NOTE

- ・Cubase 4シリーズ、または、Nuendo 4をお使いの場合は、以下のバージョンにアップデートしてください。アップデートの手順については、アップデートのダウンロードページにあるアップデートガイドをご参照ください。

－Cubase 4/Cubase Studio 4/Cubase Essential 4/Cubase AI 4	V4.5.2以上
－Nuendo 4	V4.2.2以上

[2] n8/n12をコンピューターに接続して電源を入れる

[3] IEEE1394ファームウェアをアップデートする

アップデートの手順については、IEEE1394 Firmware Updaterに同梱されている「IEEE1394ファームウェアアップデートガイド」をご参照ください。

[4] n8/n12ファームウェアをアップデートする

アップデートの手順については、n8/n12 Firmware Updaterに同梱されている「n8/n12ファームウェアアップデートガイド」をご参照ください。

[5] インストール後の確認をする

「TOOLS for n Version2/Cubase AIインストールガイド」を参照して、インストール後の確認を行なってください。

[6] Sweet Spot Data Managerをアップデートする

アップデートの手順については、Sweet Spot Data Managerに同梱されている「Sweet Spot Data Managerインストールガイド」をご参照ください。

NOTE

- ・ AI DriverおよびmLAN Driver/mLAN Toolsを他の機器で使用しない場合は、下記方法でアンインストールできます。
以下のフォルダーおよびファイルを起動ディスク（通常はMacintosh HD）から削除してください。インストールされていたソフトウェアによってはフォルダー／ファイルがない場合もあります。
/アプリケーション/mLAN Tools/
/システム/ライブラリ/Extensions/Yamaha1394AudioDriver.kext
/システム/ライブラリ/Extensions/YamahaOGTAsync.kext
/システム/ライブラリ/Frameworks/mLANEnablerFramework.framework
/システム/ライブラリ/Frameworks/mLANQt.frameworkまたはmLANQtFramework.framework
/ライブラリ/Application Support/mLAN/
/ライブラリ/Audio/MIDI Drivers/Yamaha1394MIDI.plugin
/ライブラリ/Preferences/com.yamaha.mLAN Manager.plist
/ライブラリ/Receipts/O1XHAL.pkg
/ライブラリ/Receipts/1394AudioDriver.pkg
/ライブラリ/Receipts/1394MIDIPlugin.pkg
/ライブラリ/Receipts/i88XHAL.pkg
/ライブラリ/Receipts/NCPO8HAL.pkg
/ライブラリ/Receipts/mLAN16EHAL.pkg
/ライブラリ/Receipts/mLANAsyncLibrary.pkg
/ライブラリ/Receipts/mLANAutoConnector.pkg
/ライブラリ/Receipts/mLANEnablerFramework.pkg
/ライブラリ/Receipts/mLANGraphicPatchbay.pkg
/ライブラリ/Receipts/mLANManager.pkg
/ライブラリ/Receipts/mLANQt.pkg
/ライブラリ/Receipts/MY16mLANHAL.pkg
/ライブラリ/Receipts/Presets.pkg
/ライブラリ/Receipts/YamahaAIDriverHAL.pkg
/ユーザ/（アカウントの名前）/mLAN/
/ユーザ/（アカウントの名前）/ライブラリ/Preferences/com.yamaha.autoconnector.plist
/ユーザ/（アカウントの名前）/ライブラリ/Preferences/com.yamaha.mLAN.GraphicPatchbay.plist
/ユーザ/（アカウントの名前）/ライブラリ/Preferences/com.yamaha.mLAN Manager.plist
*（アカウントの名前）はインストールしたときのアカウント名です。